

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26)について

令和8年5月
防衛省

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目

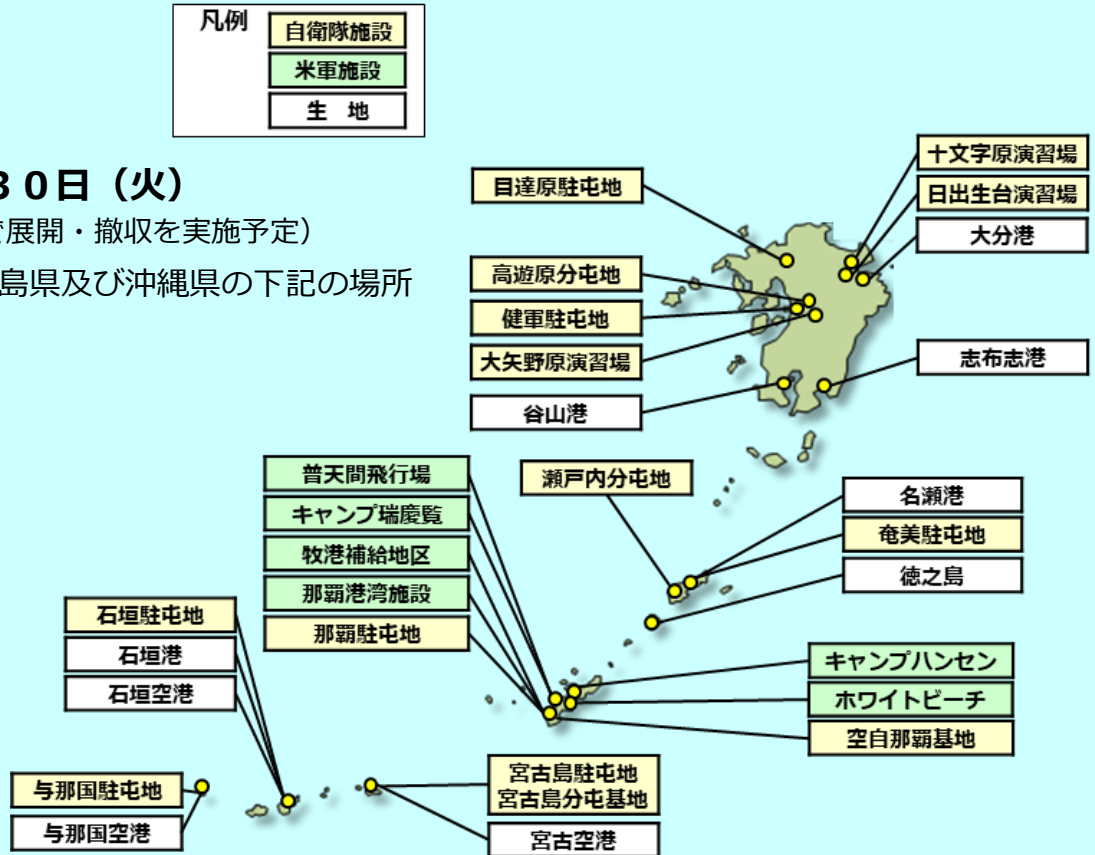
【訓練の実施場所及び期間】

➤ 訓練期間：令和8年6月20日（土）～30日（火）

（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

➤ 訓練実施場所：大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

- ・ **大分県**：陸上自衛隊日出生台演習場、
陸上自衛隊十文字原演習場、
大分港
- ・ **佐賀県**：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・ **熊本県**：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・ **鹿児島県**：志布志港、谷山港、
陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島
- ・ **沖縄県**：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、石垣空港、石垣港、与那国空港



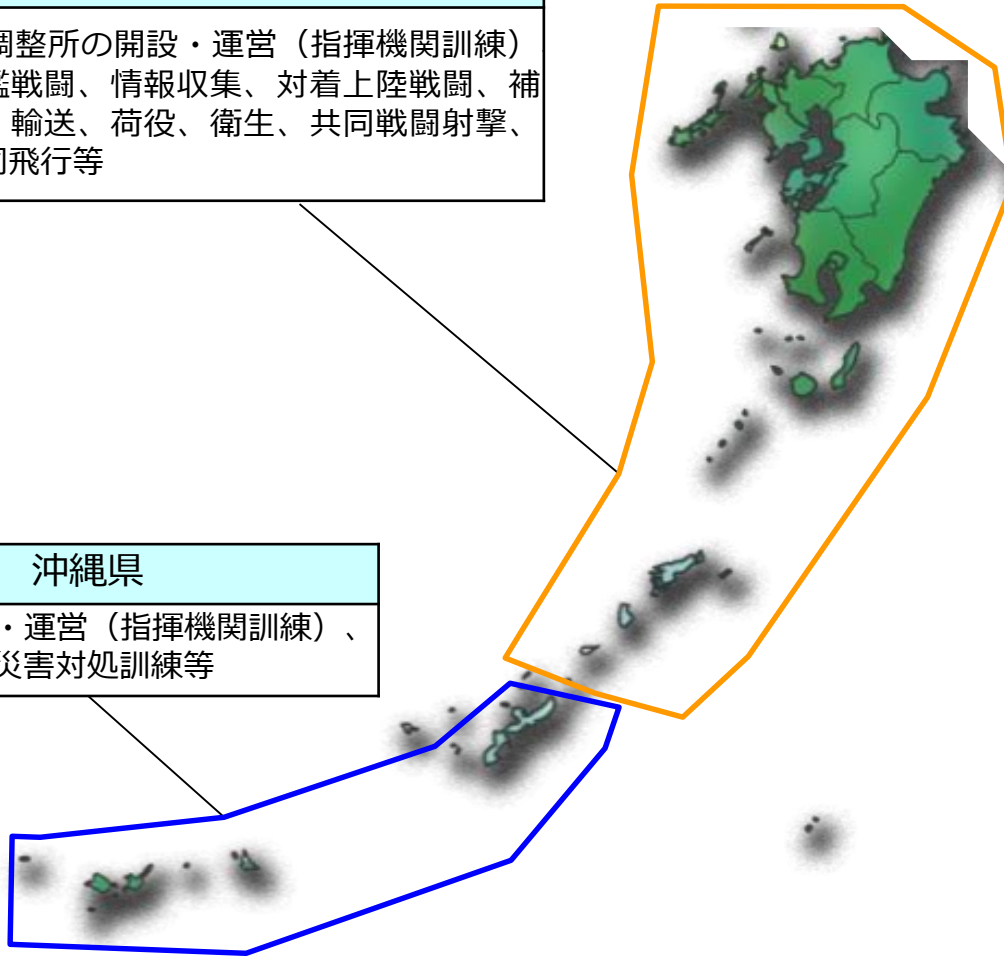
レゾリュート・ドラゴン26における訓練内容等（基準）

九州
(大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県)

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）
対艦戦闘、情報収集、対着上陸戦闘、補給、輸送、荷役、衛生、共同戦闘射撃、共同飛行等

沖縄県

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）、
災害対処訓練等



目達原駐屯地の使用について

佐賀県

目達原駐屯地においては、日米共同による**装備品の整備及び補給品の梱包等を実施するほか、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。**

- 【期 間】 令和8年6月20日（土）～30日（火） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約150名（西部方面航空隊、陸上総隊、航空学校、補給本部、西部方面後方支援隊、AH-64×4機程度、OH-1×2機程度、CH-47×3機程度、UH-60×5機程度、AH-1×2機程度等）
- 米 軍：米海兵隊、米陸軍 約300名（第1海兵航空団等、第3海兵兵站群、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、CH-53×4機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



航空機の駐機



燃料補給・整備



共同整備訓練



共同整備訓練